

自転車シェアリングを 利用してみませんか。

～自動車利用が多い～
事業者のメリット～



エリア拡大中!

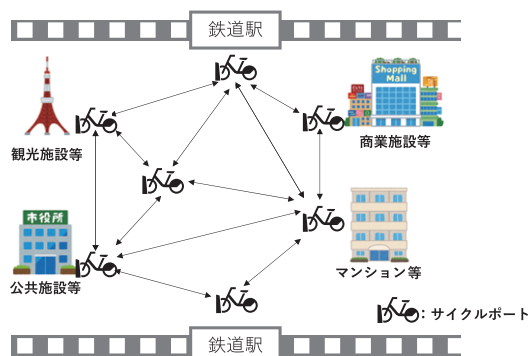


自転車シェアリングとは

自転車をいつでも、手軽に利用できるサービスです

自転車シェアリングは複数のサイクルポートにおいて自転車を自由に貸出・返却できるサービスで、借りたポートとは異なるポートに自転車を返却することができます。東京都内では、多くのエリアでポートが設置され、ポート数は増加し続けています。

ポートは、駅、公園、歩道上、店舗の前、マンション、公開空地など多くの場所に設置されています。



※国土交通省資料を基に作成



駅（有楽町駅）前のポート



公開空地（小田急サザンタワー）のポート

詳しくはHPでCheck!

東京都環境局 自転車シェアリング 検索



編集・発行
東京都環境局環境改善部自動車環境課

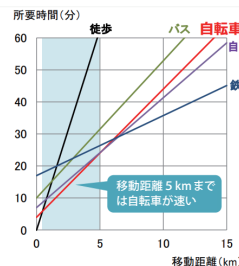


自動車利用が多い事業者のメリット

自転車は移動距離5 kmまでは他の交通手段と比べ利便性の高い交通手段と言われています。

また、移動に伴うCO₂を排出しない交通手段として環境にやさしいだけでなく、交通渋滞の緩和、行動範囲の拡大、健康増進、経済性などのメリットがあり、自転車シェアリングを利用すると、様々な効果が期待されます。

■自転車利用の時間的利便性



出典：東京都～東京都自転車活用推進計画～

✓ 駐車場・駐輪場の確保や車両メンテナンス等の経費が削減できる場合があります。

自転車シェアリングの活用により、営業車両や自転車の保有台数を削減できることから、自動車や自転車の購入・維持費用、駐車場・駐輪場代が削減できます。

自転車シェアリングは、運営事業者がメンテナンスしている自転車を利用できることから、自らがメンテナンスを行う手間も省けます。



自転車シェアリングの利用費用

- A 社：2,200 円/月・台（法人会員）
※1回の利用が30分を超過した場合、延長料金が発生
B 社：3,900 円/月・台
※30分以内の移動を3回/日、それを10日利用した場合



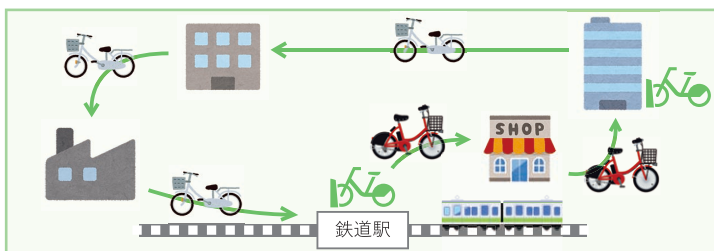
自動車の維持にかかる費用（リースの場合）
約34,000円/月・台
駐車場代（23区 月極駐車場）
約18,000～50,000 円/月・台



✓ 顧客サービスの充実が図られます。

多くの顧客や事業所等を訪問する業種の場合、自転車シェアリングを利用したほうが、自動車や公共交通に比べてきめ細やかに移動できます。さらに、徒歩に比べて速く移動できるため、顧客サービスの充実も図られます。

また、訪問先で駐車場の心配をする必要もありません。



✓ 従業員の健康増進や働き方改革の一助となります。

自転車利用は内臓脂肪を燃やし、体力・筋力の維持・増進に役立ちます。さらに、精神面の効果として、自転車利用は気分・メンタルの向上につながると言われています。

また、自転車はポートで貸出・返却できるため、従業員の方がわざわざ自転車をとりに会社に行く必要がないことから、働き方改革の一助となります。

■身体活動で消費するエネルギー

	普通歩行	速歩	水泳	自転車 (軽い負荷)	軽い ジョギング	ランニング
強度（メッツ）	3.0	4.0	8.0	4.0	6.0	8.0
運動時間	10分	10分	10分	20分	30分	15分
運動量 (メッツ・時)	0.5	0.7	1.3	1.3	3.0	2.0

出典：厚生労働省「健康づくりのための身体活動基準 2013」（参考資料を基に作成）

✓ CO₂排出量削減や交通渋滞緩和など脱炭素経営につながります。

事業者として、業務活動に自転車シェアリングを積極的に活用し、交通手段を自動車から自転車に転換することは、気候変動へ対応した企業戦略を示す脱炭素経営につながります。

様々な効果が期待できる 自転車シェアリングを利用してみませんか。

